

うたづ臨海公園

うたづ臨海公園は宇多津町の北部にあり、瀬戸内海に面しています。この町は 18 世紀以降、塩生産の中心地として栄え、日本有数の生産地となりました。塩産業は 1972 年に操業を停止し、かつて塩田だった場所にうたづ臨海公園が 1989 年にオープンしました。公園の一画には、宇多津の塩生産の歴史を記念して塩田が復元されており、この場所を訪れる人々にその歴史を知らせています。他の見どころには、カフェ 1 軒と広々とした子供用の遊び場のあるうたづ海ホテルや、公園内に最近新たに加わった施設として、2020 年にオープンした四国水族館があります。この水族館は四国近海の海洋生物を主に展示しています。うたづ臨海公園は、島々が点在する瀬戸内海を眺められる場所としても有名です。沖には牛島や本島などからなる塩飽諸島があり、その隣には本州の岡山方面に立派な瀬戸大橋が続いています。夕方にはこの風景を見ようと多くの人々がここを訪れ、海に沈みゆく夕日を眺めたり、日没後にはライトアップされた橋を見つめています。